

松本圏域と松本市の感染者の推移（4月1日以降）

松本市は、6月17日現在
松本圏域は、6月16日現在の数字

(人)

25

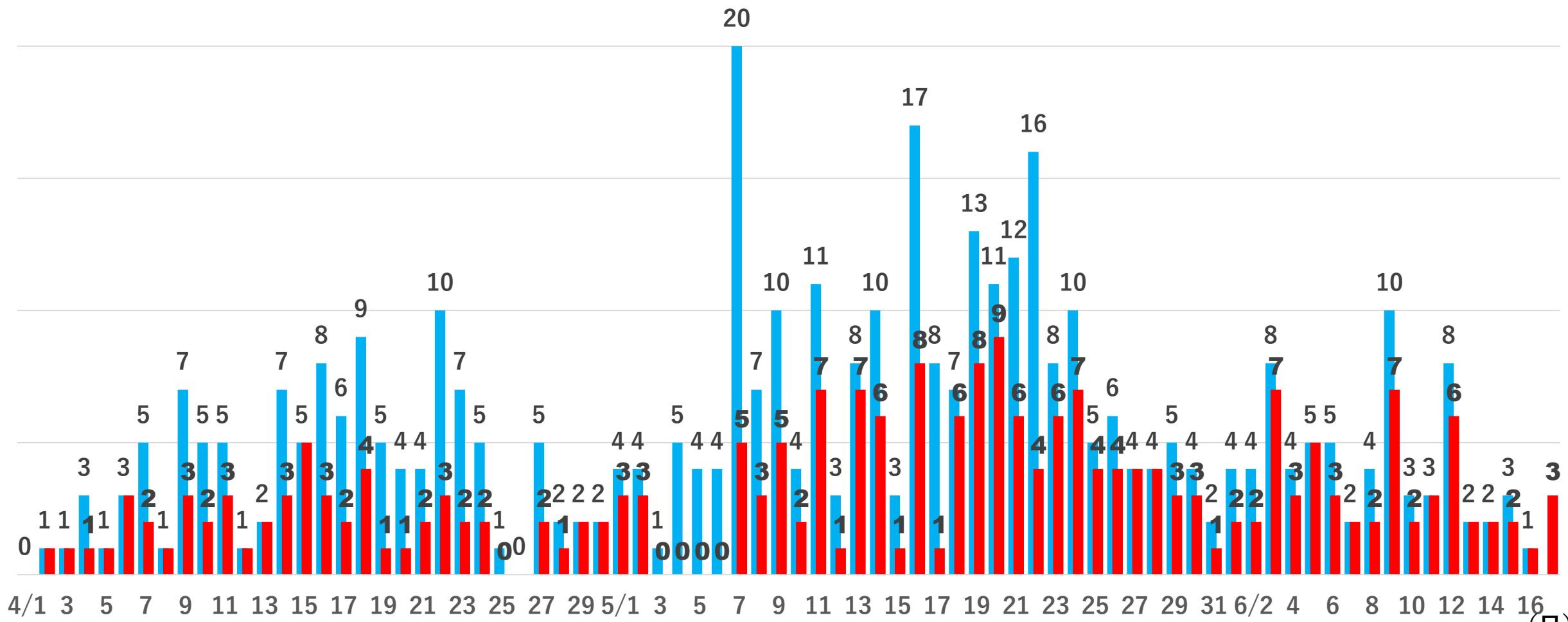
20

15

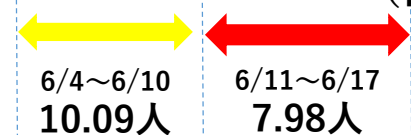
10

5

0



松本市10万人当たりの新規陽性数



松本市プレスリリース 令和 3 年 6 月 17 日



<http://www.city.matsumoto.nagano.jp>

新型コロナウイルス感染症の陽性者発生状況等について

松本市内において、新型コロナウイルス感染者が確認されました。詳細は、以下のとおりです。

松本市内の新型コロナウイルス感染症陽性者に係る状況 【令和 3 年 6 月 1 7 日公表分】

市 No.	県 No.	診断	年代	性別	居住地	職業等	症状、経過、行動歴等	備 考
229	4946	患者	50代	女性	松本市	施設職員	6月14日 発症（発熱） 6月15日 医療機関受診 検体採取 陽性判明（PCR検査） 医療機関に入院（軽症）	濃厚接触者（判明分）：2人 （同居2人）
230	4947	患者	40代	男性	松本市	会社員	6月14日 発症（咳） 6月16日 感染症指定医療機関受診 検体採取 陽性判明（PCR検査） 感染症指定医療機関に入院（軽症）	濃厚接触者（判明分）：3人 （同居3人）
231	4948	患者	30代	男性	松本市	会社員	6月14日 発症（咽頭痛、頭痛、倦怠感、下痢） 6月16日 医療機関受診 検体採取 陽性判明（PCR検査） 6月17日 宿泊療養施設に入所（軽症）	濃厚接触者（判明分）：3人 （同居3人）

問い合わせ先	健康福祉部 松本市保健所 保健予防課 （課長：佐藤 亜矢子） （担当：忠地、野沢）
	Tel 0263-40-0701（代表） 内線 63126

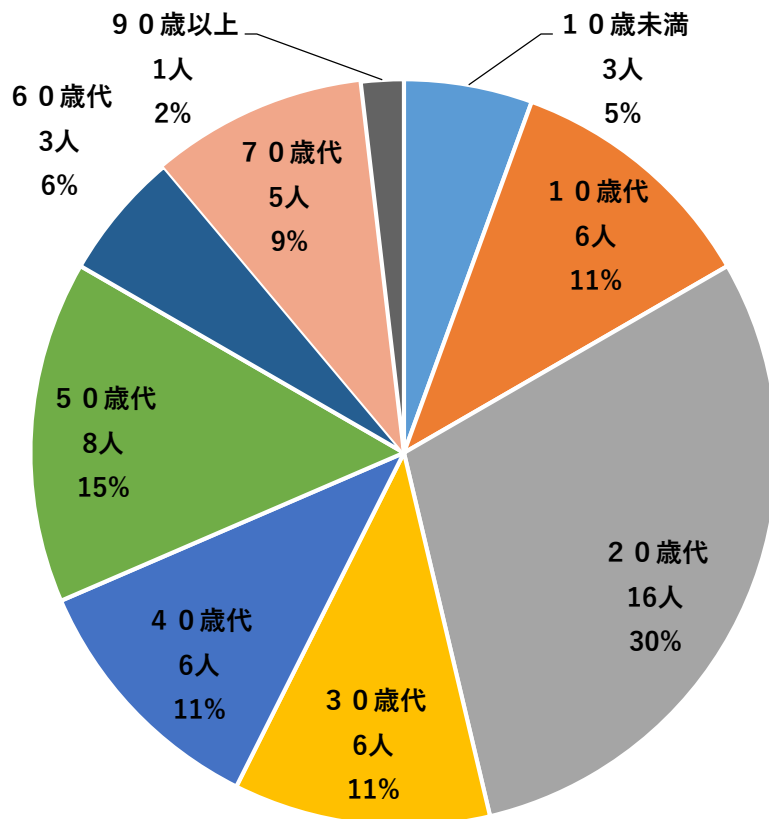
新型コロナウイルス陽性者属性

市長記者会見資料

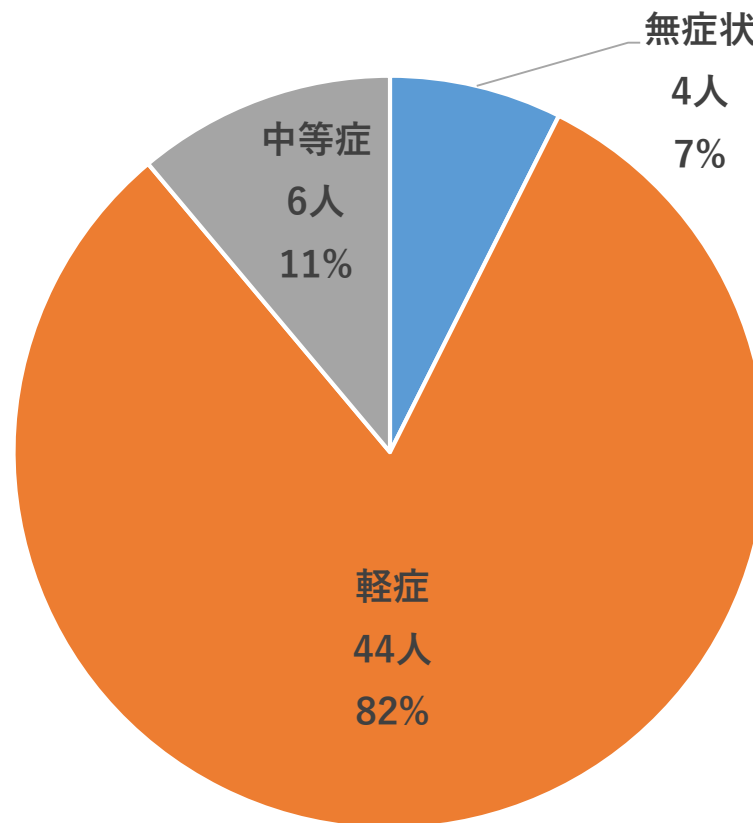
3 . 6 . 1 7

保 健 予 防 課

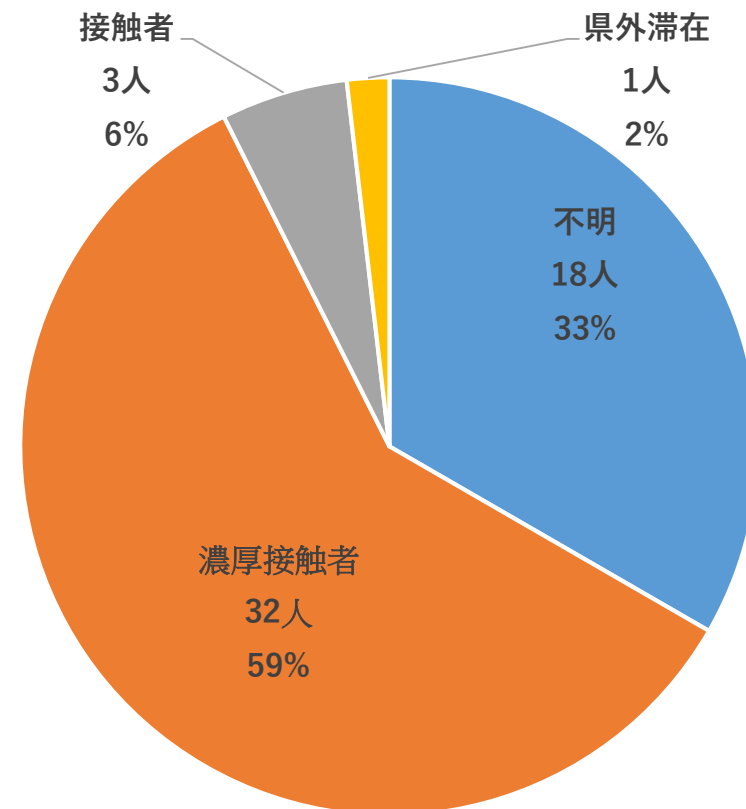
【年齢別】



【症状別】



【感染経路別】



6/1～16：54人

気を緩めずに感染対策の徹底を

市長記者会見資料

3. 6. 17

保健予防課

○ どんな場面でも感染対策を忘れない

- ・ 利用人数の制限
→ 空間に合った人数で
- ・ 換気の徹底
→ 窓の開放を、車では外気導入
- ・ 基本を確実に
→ マスクと手指消毒



フランス パラサイクリングチーム事前キャンプ

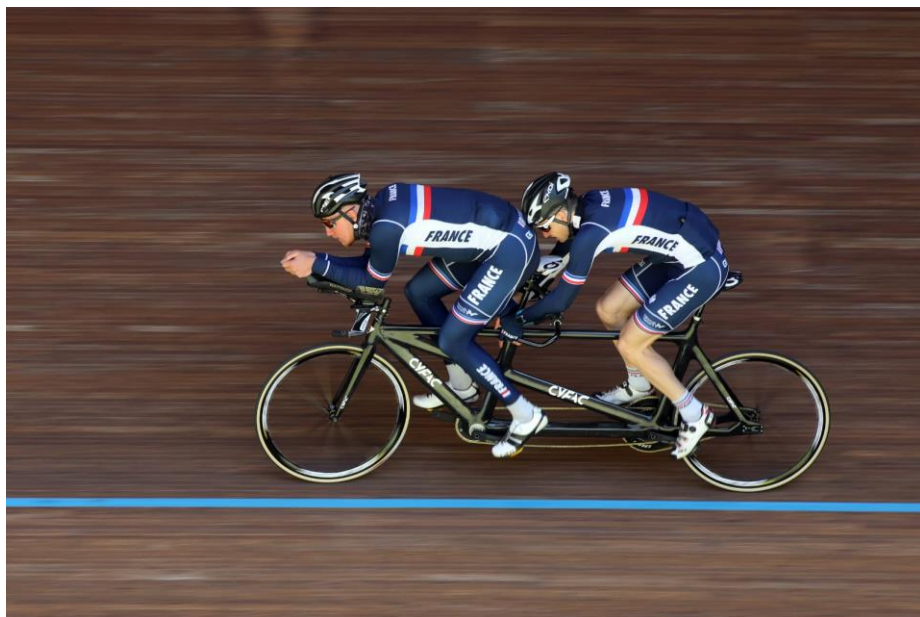


概要

- ▶ 受入国：フランス共和国
- ▶ 競技名：パラサイクリング（トラック・ロード）
- ▶ 人数：20名（内選手11名、コーチ等関係者9名）
トラック選手8名（男性7名・女性1名） ロード選手3名（男性1名・女性2名）

滞在日程(予定)

- ▶トラック競技 8月15日（日）～20日（金）
松本市美鈴湖自転車競技場
- ▶ロード競技 8月15日（日）～26日（木）
市内（調整中）



自転車競技開催日程

- ▶トラック競技 8月25日（水）～8月28日（土）
伊豆ベロドローム
- ▶ロード競技 8月31日（火）～9月3日（金）
富士スピードウェイ

市長記者会見資料
3. 6・17
スポーツ推進課

東京2020パラリンピック フランスパラサイクリングチーム事前キャンプについて

1 受入国等の概要

- (1) 受入国 フランス共和国
- (2) 競技名 パラサイクリング（トラック・ロード）
- (3) 人 数 20名（内選手11名、関係者9名）
（トラック選手（男性7名・女性1名）、ロード選手3名（男性1名・女性2名））

2 主な経過

- 令和元年11月 フランスパラサイクリングチームから事前キャンプの打診
- 12月 代表コーチが来松し、自転車競技場等を視察
- 2年 1月 令和2年8月に松本市で事前キャンプを実施したいとの連絡
その後、コロナの影響でパラリンピック開催が1年延期
- 3年 1月 相手方から改めて松本市で事前キャンプを実施したいとの連絡有り
- 6月 フランスパラリンピック委員会とビデオ会議にて協議
改めて事前キャンプを実施したい旨確認（6. 1）

3 日程

- (1) パラリンピック開催期日 8月24日（火）～9月5日（日）

※自転車競技期日	8/25(水)～8/28(土)	伊豆ベクトローム・・・トラック競技
	8/31(火)～9/ 3(金)	富士スピードウェイ・・・ロード

- (2) キャンプ期間（予定） 8月15日（日）～8月20日（金）・・・トラック競技
8月15日（日）～8月26日（木）・・・ロード競技

4 事前キャンプの概要

- (1) 宿泊先 市内ホテル
- (2) 練習会場
ア トラック 松本市美鈴湖自転車競技場
イ ロード 調整中

5 選手団の動き

- (1) 選手団は、入国前にワクチン接種を完了し、入国前96時間以内に2回のPCR検査を実施した後に入国。入国直後の空港内でもPCR検査を実施する。
- (2) 選手団は、羽田空港から専用バスを利用し本市へ移動する。
- (3) 宿泊先では、従業員用の動線を使用し、一般人や市民との接触を避ける。滞在中は、毎日、唾液によるPCR検査を実施し、宿泊先と練習会場を専用車で移動する。
- (4) 事前キャンプ終了後、専用バスでパラリンピック会場へ移動

6 受入関係者のコロナ感染症対策

- (1) 受入関係者は、受け入れ２～３日前にＰＣＲ検査を実施し、受入れ後は、選手団と同様に毎日、唾液によるＰＣＲ検査を実施する。
- (2) 万全な体制で受入れを行うため、受入関係者の優先ワクチン接種を検討している。

7 市民との交流

選手団と市民が接する交流が困難なため、松本市美鈴湖自転車競技場での公開練習等の観戦をはじめ、リモートによる交流など、安全に配慮した形での交流を調整中

8 フランス共和国との今後の展望

- (1) ツール・ド・フランスでも有名な自転車強豪国のフランスのパラサイクリングの事前合宿を受入れることにより、松本市美鈴湖自転車競技場を中心とした自転車のメッカや地域の活性化につながることを期待
- (2) また、パラリンピック事前キャンプ誘致により、ユニバーサルデザインへの市民意識の改革にも期待
- (3) 次期のオリンピック・パラリンピックの開催地がフランス・パリであることから、この事前キャンプを契機に交流に繋がることを目指していきたい。